

第1日目

大阪市立昭和中学校 会場

当日の日程

13:10～	13:30～14:20		14:30～16:30
受付	公開授業	休憩	研究討議会

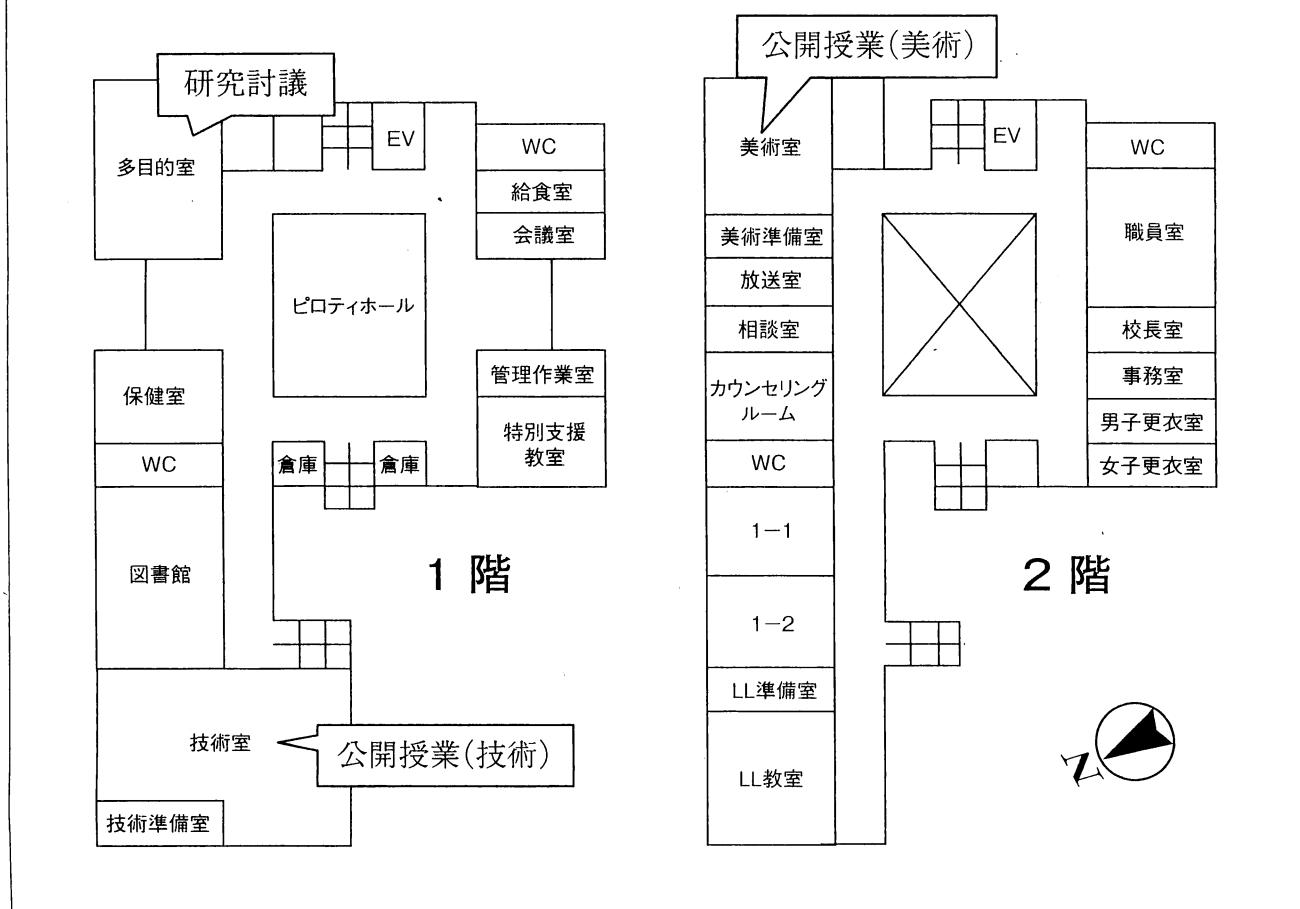
本校の特色

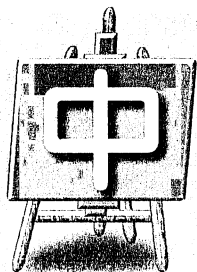
本校は、今年で創立66年目を迎え、阿倍野区の東南、桃ヶ池公園に隣接する緑豊かな地域にあります。校訓を「自主・練成・創造・調和」とし、「生きる力」を育む教育を推進しています。平成24年度は、各学年2学級と特別支援学級1学級で、20余名の教職員の指導のもと、186名の生徒が学んでいる小規模校です。

本校では、平成19年度以降、「情報」に関する教育に対し、各方面からのアプローチを試みています。特にICTを活用した授業については、先進的に取り組みを進めてきました。本年度は、これまでの研究をもとにICTを活用した授業の実践を提案します。ぜひご覧ください。



会場案内図





公開授業・実践研究発表 2年2組

ユニバーサルデザインを考える

～やさしさをちょっとプラスして～

指導者 前川 愛子 (大阪市立昭和中学校)
 司会者 澤井 美代 (大阪市立玉出中学校)
 助言者 大橋 功 (岡山大学)

研究経過

身近にある様々な製品や、社会にある全てのものは誰かの手によって考えられ、工夫され形づくられている。日常、私たちは何気なく使っているが、その何気なく使えることがとてもいい。

しかし、時々ちょっと困ったなと思うこともある。もっと困ったと思う人も大勢いるはずである。障がいがある人、高齢者、小さな子ども、ケガをした人など。少しのやさしさから少しの工夫が生まれ小さな改良によって、使いやすいものになる。使った人に「いいねえ」と思ってもらえるものを、「自分達も考えてみよう。」そのような思いで取り組んでいる。

本校では2年生になると、近くの幼稚園との交流で保育体験を行う。家庭に小さな弟や妹がいる生徒でない限り、ふだん接する機会が少ない幼児との関わりに四苦八苦する。そのような中でも、少しの心配りや工夫で園児も安全に楽しく活動できることを発見し、生徒は本当にやさしい気持ちになる。

ユニバーサルデザインの7原則

1. どんな人にでも公平に利用できること
2. 使う上で自由度が高いこと
3. 使い方が簡単で、すぐわかること
4. 必要な情報がすぐに理解できること
5. うっかりミスや危険につながらないデザインであること
6. 無理な姿勢をとることなく、少ない力でも楽に使用できること
7. アクセスしやすいスペースと大きさを確保すること

をふまえ、ユニバーサルデザインを学ばせたい。

このような経験を経て何が大切かを学んでいき、他者の立場に立って見ること、そして十分に構想を練り、使いやすさと共に美しいモノづくりをめざして制作する。活動の過程において、社会に目を向けていくことが大切であることを学ばせたい。そこで班ごとに、テーマを考え身近な材料を使用し作品を制作する。その過程や鑑賞する中で、互いの作品に対する意図や思いを感じ取る活動をすすめる。友だち同士の助言や協力により活動を深めていく。

本校はICT研究指定校で電子黒板が8台あり、他校よりも活用しやすい環境にある。この題材では、「ユニバーサルデザイン」を電子黒板を使い紹介し、さらに導入時にも使用した。また生徒の作品発表でも電子黒板を使用させたい。

「自分達の思いが他の人に伝えられるか。」「電子黒板を活用し作品のアピールができるか。」また、「聞き手側は発表のポイントを正確に聞き取り批評することができるか。」などを十分に検証し、そのための力を育成していきたい。

学習指導案

第2学年	〔学習の主題〕 誰もが負担に感じず、使いやすかつ美しさを感じるデザインする力をつける。 また、発表によって相互鑑賞することで、互いの違いや良さを発見、尊重する態度を養う。 〔題材名〕 『ユニバーサルデザインを考える ～やさしさをちょっとプラスして～』	〔材料・用具〕 【指導者】 PC、電子黒板、ワークシート 【生徒】 自分の作品、筆記用具
------	--	---

1. 題材のねらい

関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
・自主的に資料集めをし、どのようなところに工夫がされているのかを観察して、意欲的に作品づくりに取り組むことができる。	・ユニバーサルデザインの7原則を理解し、発想、構想に生かすことができる。 ・機能だけでなく、社会に発信できるデザイン性を意識し構想を練ることができる。	・イメージした作品作りに必要な材料を選択し、効果的に活用することができる。	・発表で自分の思いを伝えられる。 ・友だちの作品を鑑賞し、その意図や思いを感じ取ることができる。

2. 主な学習活動（全10時間）

表 現

- 第1次 電子黒板でユニバーサルデザインを見て、7原則を理解する。（1時間）
- 第2次 班ごとにテーマを決め、誰もが使いやすいものをデザインする。（2時間）
- 第3次 各自がデザインしたものを、身近な材料を使い制作する。（3時間）
- 第4次 発表の準備をする。また学習し制作した過程をまとめる。（2時間）

鑑 賞

- 第5次（本時） 班ごとに各自の作品を電子黒板等を使い発表する。発表を聞く側はワークシートに聞き取ったこと、感じたこと等を書きこみ、発表者と意見交換する。
- 第6次 全てのまとめをして、感想を書く。